



**日本共産党  
文京区議団**

**いのち  
くらし  
営業を  
守る！**

左手前から、小林区議、福手ゆう子都議、中段左から、こうだ区議、いたくら区議、関川区議、後段左から、金子区議、まんだち区議、石沢のりゆき青年学生部長  
(1928年開園の大塚公園で一ライオンの噴水の横)

**200億円超える  
シビック改修費**

**どこが「区民施設」優先か!?**

千駄木小  
小日向台町小

学校改築の検討は1年10カ月遅れ



シビックセンターの庁舎棟は完成から27年、ホール棟は22年が経ち、大規模な改修工事が行われています。

一方、学校や地域の施設はどうでしょうか。千駄木小(築86年)と小日向台町小(築84年)の校舎建替の検討会は、1年10カ月遅れで昨年12月に1回目が開かれる始末。老朽化した小中学校の理科室や家庭科室等の改修もされていません。湯島総合センター(築42年)や不忍通りふれあい館(築28年)も大規模改修は1度も行われていません。区は「区民施設優先」と言いますが、実態はシビック一極集中です。区財政にも大きな影響を与えるシビック改修はいったん凍結し、見直しが必要です。

**シビック建設から改修まで 1500 億円超!!**

建設関連総経費	830 億円 (工事費のみだと 647 億円)
建設借入金の利子負担	33 億円
改修工事① 2012年～2017年	35 億円
改修工事② 2018年～2027年	200 億円
改修工事③ 2028年～	「計画を立てる」と言い、額は明言せず
維持費 1995年～2027年	437 億円 (電気・水道・清掃等)

※区は改修費②を174億円としていますが、設計費と消費税を加えると200億円程度になります。また、維持費の1995～2020年の実績は346億円(年平均13億円)にのぼりました。

**区長に緊急申し入れ**

**コロナ 対応の拡充を、  
来年度予算の「重点」に**

年末までの子どもへの10万円全額給付を求め、実現!

11月議会に示された文京区の来年度予算案の32の「重点施策」には、新型コロナウイルス感染拡大防止の施策が、ひとつもありません! 新しい変異株の感染予防が求められているというのに、区長は「(来年度)当初予算編成において示す」と、感染対策への認識が問われます。

区議団は昨年12月15日、オミクロン株の感染拡大防止のため「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」の立場で大規模なPCR検査、保育園や学校などでの定期的な検査の実施、医療と保健所体制強化のために保健師の増員、そし



て中小企業事業継続補助金の2回目の実施と事業継続に欠かせない家賃等「固定費支援給付金」の創設も求めました。

さらに、(※)18歳以下への10万円の給付金の年末までの全額給付と、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の引き下げや年末年始の生活相談窓口の開設を求めました。

(※)当初、5万円ずつ22年春以降に分けて給付する区の方針でしたが、共産党の申し入れ直後、21年12月中に給付すると変更されました。大きな成果です。

**ワクチン3回目 接種がスタート**

ワクチンの1・2回目接種から8か月以上経過した人から、順次3回目の追加接種が始まります。6か月経過を目安に接種券が発送されますので、ご確認ください。

今回は、高齢者の方の予約は必要ありません。区が接種日時と会場を指定し、事前に通知いたします。変更ご希望の方は、コールセンターまたは予約サイトで予約をしながらすることが可能です。

# 問題続出の 指定管理者制度



文京区では、2006年から指定管理者制度(※)を導入し、右の施設を含め現在は51施設(スポーツ施設、児童館、交流館、勤福、福祉センター、八ヶ岳高原学園など)が指定管理となっています。

指定管理者の決定は入札ではなく、区が要求する業務水準・仕様書に則した各応募事業者からの提案が審査され、一番点数が高いところを決めるプロポーザル方式で行い、議会が議決します。

指定管理はおおむね5年間で、この間1者しか応募がなく競争原理が働かなくなる事態も起きています。議会への報告も5年間の最初と最後の2年間は行わず、厚生・建設・文教委員会では区からの報告もなくなり、全容が見えにくくなりました。

この間、本社経費や人件費、収支報告と専用口座残高の不一致、第3者への委託などの問題が出ており、改めて指定管理者制度の検証が必要になっています。

※指定管理者制度とは

区等の施設管理を民間(指定管理者)に任せるといふもの。年次ごとに管理者は事業報告書を提出し、区はきちんと施策を行っているか評価し、議会は5年ごとに指定管理先を決定することになっています。

## 目白台運動公園

(一財)公園財団と日本体育施設(株)の共同が管理しています。腐朽菌のキノコ発生により樹齢100年近い桜が5本も切れ、グラウンドの芝生一面に雑草が生えるなどずさんな管理であり、汚泥等を土砂災害警戒区域指定の樹林地に不法投棄し、都から撤去命令が出されています。



朽ちて伐られた桜の大木

## 図書館は？

図書館の指定管理者の評価結果では、ヴィアックス・紀伊国屋共同事業体は、昨年、常勤率が5割未満の月があったこと、また、図書館流通センターも含め、利用者アンケートでレファレンス業務の満足度が60%台と低く、改善が必要であることが明らかになりました。



区立図書館

## 区営住宅、シルバーピアの指定管理者について

(株)東急コミュニティの管理は、居住者の高齢化の中、修理等を自己責任でやれという姿勢を冷やかに感じる。どう困りごとに寄り添うか、管理者と区に問われています。暖かい対応を求めて反対しました。



区営住宅

## 鷗外記念館 特別展が値上げに

記念館を運営する丹青社は特別展入館料を500円から600円に値上げの提案。理由は「展示レベルを維持・向上させるため」で、区の提示する指定管理料では人件費が足りず利用者負担を増やすというのです。指定管理者制度の矛盾です。



森鷗外記念館

## 文京区の私立保育所の経費が 文京以外の子どもに使われている!?

—「保育所運営委託費の弾力的運用」の文京での実態と問題点—

(弾力的運用で他の保育所整備に流出した例)

こころおちゃのみず第1	→新園開設準備金等へ	約3865万円
こころぶんきょうみょうがだに	→新園開設準備金等へ	約2589万円
えがおの森保育園・千石	→大阪市鶴見区の保育所整備へ	約2755万円
ちゃいれっく新大塚駅前	→中野区保育園に係る費用へ	約502万円
アスク本駒込	→アスク木曾西保育園へ	200万円
//	→アスク豊洲保育園へ	100万円
クオリスキッズ駒込	→新設保育園の施設整備へ	100万円

今や100ヶ所を越えた区内の私立保育園では、国が定める保育の質確保のため必要な経費を定め、区を通して保育事業者に委託費として払われています。

しかし、民間企業の参入を促すため、「弾力的運用」として2019年度は15園で5億4961万円、2020年度は24園で3億3059万円が区の保育に使われず、本社経費や他自治体の保育所整備に流出しました(参考、上の表)。

文京区の委託費は文京区の子どものため、また、保育士の処遇にこそ使われるべきです。

区長の「国の制度であり国に見直しを求める考えはない」との答弁は遺憾です。

## 許さない! 特別支援教育のレベルダウン

「特別支援教室」で指導を受ける児童・生徒は、区内で320名に増加しています。ところが都教育委員会は、指導を受けられる期間を原則1年、延長しても2年までとしました。さらに、区市町村ごとに児童・生徒10名に1人とされている教員の配置基準を来年度から12人に1人に引き下げるとしました。

これに対して、教員や保護者

から“到底うけいられないうい意見が上がりました。

日本共産党はこのことを取り上げ、区は、2年を超えても指導を継続することも可能と答弁。しかし来年度、教員を小学校で1名、中学校で2名減とすると、配置基準の改善を都に要望する考えはないとしました。引き続き改善に向けて頑張ります。



## ストップ!! 介護施設の値上げ攻勢

特養等の介護施設での食費・居住費は、住民税非課税世帯等への負担軽減策として「補足給付」制度があります。昨年8月国の改悪で、月2万~7万円の負担増となる人が区内で633人にも上ることがわかりました。この改悪で、収入が年額120万

円超の方の個室利用では、部屋代と食費で年97万円もの負担増となる方がいます。入所継続が困難、入所自体を断念せざるを得ない方が出ないか懸念されます。国に対し撤回を求め、区独自で給付継続することを要求しました。



区政へのご意見・ご要望をお寄せください



いたくら美千代  
区議会議員



まんだち幹夫  
区議会議員



こうだ久美子  
区議会議員



関川けさ子  
区議会議員



金子てるよし  
区議会議員



小林れい子  
区議会議員

お問い合わせは  
こちらへ



第114号 2022年 新春号

☎5803-1317 FAX 3811-3197

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>

Eメール: [mail@jcp-bunkyojugidan.gr.jp](mailto:mail@jcp-bunkyojugidan.gr.jp)